

7 月度常議員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成24年7月24日（火） 15：00～

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 横田支部長

常 議 員 浅野、上谷、大西、片山、桑原、嶋崎
加賀尾、聲高、佐藤、田代、田中、福田、矢ヶ崎

支部監事 富山

審議出席 鈴木計夫氏（審議事項「(10)」について出席された。）

事務局 児玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）理事会、支部長会議報告の件

- 支部長より、7月20日(金)に開催された理事会および支部長会議の報告が行われた。理事会の主な報告としては、「表彰制度の整備について (1)日本建築学会著作賞 (2)作品選集新人賞」、「規程類の制定・改廃について (1)日本建築学会教育賞選考委員会運営規程の変更 (2)国際委員会運営規程の変更 (3)「価値ある建築物の保存要望にあたっての申し合わせ」の変更および「価値ある建築物の保存活用に関する要望書」作成要領の制定」などであった。支部長会議での主な報告としては、「支部規程類の変更案について ①支部規程②支部選挙細則」に関してであった。

（3）支部規程類の変更について

- 7月20日(金)に開催された支部長会議の主要議題であった、支部規程と支部選挙細則については、変更に伴う各支部からの意見に基づき各支部共通で修正したほうが良いと思われる個所の対応案に関して支部長から説明が行われた。
- 対応案については出席役員より特段の異議は示されなかった。
- 今後のスケジュールについては、以下のとおりであることが支部長より報告された。
支部長会議(11月度)としての最終検討→各支部会員への意見募集→支部長会議(3月度)としての変更案承認→各支部総会にて変更案の決議→理事会での承認

(4) 7月度本部学術推進委員会報告

- 7月18日(水)に開催された本部学術推進委員会の報告については、田中剛常議員(当支部代表本部学術推進委員)から報告が行われた。
主な報告としては、「2012年度大会について」、「東北地方太平洋沖地震関連」、「電子情報化の推進について」、「2013年度大会について」、「『価値ある建築物の保存要望にあたっての申し合わせ』の変更と、『価値ある建築物の保存活用に関する要望書作成要領』の新設について」、「2013年度委員会予算配分方法について」などであった。

(5) 支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(6) 当支部研究委員会からの報告

- 桑原進常議員(当支部研究委員会委員長)より委員会で審議された、近畿支部研究発表会に関する次の6件の議題に関して報告が行われ、実施については承認された。
 1. 優秀発表賞の実施意義を確認したうえで来年度も実施する。
 2. 採点を担当する者は、今年度と同様とする。
 3. 賞の候補者となる最低評価点を来年度は、21点以上とする。
 4. 評価段階を5段階から6段階に変更する。
5: 優れている, 4: やや優れている, 3: 普通, 2: やや劣っている, 1: 劣っている
↓
5: 非常に優れている, 4: 優れている, 3: やや優れている, 2: 普通, 1: やや劣っている, 0: 劣っている
 5. 新規(発表)登録の申込書に記載する賞の審査希望欄には、“希望する”にチェックを入れた状態にする。また、応募者の条件欄と審査希望の有無に食い違いがある場合は、アラートを表示する。
 6. 来年度からは本部の大会と同様に、インターネット上の発表プログラムページにも「PC用プロジェクターを用いた発表に関する注意事項」を掲載する。

(7) 2013年 日本建築学会教育賞(教育業績)推薦依頼の件

- 支部長および事務局から本部に推薦までのスケジュールについて説明があった。
- 各役員は、次回(9月度)常議員会までに事務局へ候補者を推薦することとした。

(8) 2013年度 本会「特色ある支部活動」助成対象企画の募集について

- 支部長および事務局から企画募集に関する説明があった。
- 当支部の常置研究部会には、企画の申請を是非とも提出していただくよう強く要望する文書にして依頼することとした。

(9) 大阪市建築物整備保全業務実施事業者選定評価会議委員の推薦について

- 大阪市からの依頼内容と担当者の意向などを踏まえて検討した結果、西岡真稔氏(大阪市立大学大学院 准教授)を推薦することが承認された。

(10) 近畿支部司法支援建築会議の設置について

- 鈴木計夫氏（本部司法支援建築会議支部代表委員）より、当支部内への司法支援建築会議設置に関連した本部および東海支部の状況報告と設置目的について説明が行われた。
- 出席役員において慎重に検討した結果、当支部の運営からは独立した組織として活動することを条件に、支部所在地内に司法支援建築会議を設置することが承認された。

(11) 本部災害委員会市民講座WG「支部企画」について

- 今年度の本部交付金事業として承認された企画内容について、担当の大西常議員より構想段階の報告があった。

(12) 後援名義借用依頼の件

- 次の後援名義借用事業については承認することとした。

○アイデアコンペ「新ええとこ」提案コンクール

- 応募期間 ～10月31日（締切日）
- 表彰 11月末
- 会場 表彰式、入選作品展示会は大阪市内で実施する予定
- 主催 日本建築協会

【報告事項】

(1) 研究発表会終了に伴う収支報告の件

- 今回の発表会収支に関しては、暫定収支として55万円強の剰余となる見通しであることが事務局より報告された。

(2) 設計競技支部審査結果報告の件

- 審査員長である大西常議員より、今回応募のあった75作品については、7月10日に開催された当支部審査会の結果、16作品が支部入選に決定したとの報告があった。
- 合わせて、今回の応募作品に関する全体講評が述べられた。

(3) 公開討論! 市政改革プランと住まい情報センター&住まいのミュージアム(7月9日)終了報告

- 業界新聞に掲載された記事が回覧されるとともに、事務局から口頭による終了の報告があった。

(4) 「親と子の都市と建築教室 京町家の伝統技術を学ぶ」申込み状況の報告

- 上谷常議員(親と子の都市と建築教室拡大実行委員会委員長)より、親と子の都市と建築教室の事業として開催する、「第10回 京町家の伝統技術を学ぶ」(8月18日(土))の申し込み状況および開催内容について説明が行われた。

(5) 第1回当支部事業幹事会（7月11日開催）の報告

- 浅野事業常務幹事より、事業幹事会にて審議された下期の支部事業を開催するにあたり、当支部鉄骨構造部会に企画と実施に関する協力依頼が述べられた。
- 当支部鉄骨構造部会主査の桑原常議員、前主査の田中常議員、幹事の聲高常議員より開催に向けて検討することが述べられた。

(6) 報告会 & シンポジウム「ストック再生活用のための手法」開催案内

- 支部長より、当支部建築経済部会が企画して7月27日に開催される、支部事業の報告会&シンポジウムの説明と参加者動員に関する協力について述べられた。

以上